


がん教育実施報告書

学校名	相馬市立磯部中学校
実施対象者 (学年・保護者など)	全学年・教職員
教育課程の位置づけ	体育・保健体育 道徳 <u>学級活動</u> ・HR活動 講演会・行事 その他()
実施日時	令和7年11月12日(水) 14:20~15:10
打合せについて	【1回目】方法: メール 内容: 授業内容
	【2回目】方法: 対面 内容: 授業内容・ワークシート
外部講師 職・氏名	職名 相双保健福祉事務所 保健技師 氏名 佐藤 愛菜 様 がんピアネットふくしま 氏名 大瀧 由美子 様
実施内容	<p>講話：健康で過ごすためにできること</p> <p>① 「がんってなに？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がんは身近な病気であることを知る。  <p>② 「健康で過ごすためにできること～がんの予防と早期発見」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・がん患者さんの体験談を聞く。 ・予防や早期発見のための健診の大切さについて学ぶ。  <p>③ まとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の学んだこと、感じたことを考え、発表する。  

④ がん予防メイトの任命を受ける。



成 果 等

* 児童生徒等の反応や感想等を記入する。

- ・がんは身近で怖い病気だと思った。がんにならないために健康に良い生活をしようと思った。
- ・がんの種類や生活習慣で起こるものを図やイラストで見せていただいて分かりやすかった。
- ・実際にがん経験者の方に詳しくお話ししていただいて、がん検診の大切さがわかった。

*実施主体として、外部講師を活用してよかった点や課題等について記入する。

- ・学校の教職員ではカバーしきれない専門的な話や、がん患者さんの体験談をお聞きすることで、生徒一人ひとりが「がんは特別な病気ではなく、誰にでも起こりうるもの」であることを実感し、自分や家族の健康を見つめ直すきっかけとなった。
- ・外部講師が来ることで、生徒は普段とは異なる特別感を感じ、学びへの興味や意欲が高まったと感じた。